

国別技能評価システムの概要
(技能評価システム移転促進事業)

更新日：令和 8 年 9 月 30 日
株式会社 J T B

国名	タイ
所管政府機関	Department of Skill Development (DSD), Ministry of Labour 労働省技能開発局
技能評価制度	日本政府の無償資金協力・技術協力によるコンケン職業訓練センター(1978)、ウボンラチャタニ職業訓練センター(1985)をはじめとする各国や国際機関の援助により、内務省技能開発局の下、東南アジアとしては早くから職業訓練制度や機関が整備された。現在、DSD が直轄運営する 12 の地域技能開発センターと、県が運営する 66 の職業訓練校において就職前養成訓練プログラム、在職者技能向上訓練プログラムなどを実施している。Samutprakarn 県にある地域技能開発センターに、2015 年、官民合同で自動車関係の人材育成を行うタイ自動車人材育成アカデミー (AHRDA) が整備され、活動を開始した。 国家技能標準試験は、技能開発促進法 (2002 年) に基づき、DSD が実施している。国家技能標準 290 職種 (2026 年 8 月 21 日現在) が承認されている。なお、国家技能基準は、2017 年 9 月 28 日付けで、国家資格枠組 (NQF) 及び ASEAN 資格参照枠組み (AQRf) との整合性を図るため、レベル 1~3 の 3 段階からレベル 1~6 の 6 段階に改訂された。この改訂により、レベル 1~3 は技能標準試験として実施されている。レベル 4~6 はマネジメントレベルとなっているが、現在は実施されていない。 自動車塗装工、自動車板金工、パイプ溶接、金型製作、CAD、旋盤加工、CNC 旋盤、電気設備工、エアコン工などの製造業系の技能の他、建設関係、サービス関係の技能標準が整備されている。 【技能検定】 タイでは例年約 70 職種の技能検定が実施され、2025 年度の受検者数が多い職種は以下の通りである。 屋内電気工(受検者数 34,519 名/合格者数 21,226 名)、 コンピュータ (ワープロ) (受検者数 6,015 名/合格者数 2,491 名)、 自動車メンテナンス技術者(受検者数 5,071 名/合格者数 4,194 名)、 家庭用・小規模商業用空調技術者(受検者数 4,197 名/合格者数 3,028 名)、 タイマッサージ師(受検者数 4,206 名/合格者数 3,273 名)、 メカニック(受検者数 3,625 名/合格者数 1,648 名) また、SESPP で支援した職種及び CNC 旋盤作業の受検動向は以下の通りである。 シーケンス制御(受検者数 2,310 名/合格者数 814 名) 旋盤作業(受検者数 245 名/合格者数 122 名) CNC 旋盤作業(受検者数 222 名/合格者数 179 名) 技能向上及び技能取得のインセンティブを高めるために、2008 年の労働保護法改正により、職種別、技能レベル別の最低賃金が設定された。これにより、国家技能検定の合格者に対しては、職種別に技能レベルに応じた最低賃金 (一般の最低賃金より高い) が設定されている。

実施体制	【技能検定】 国家技能標準試験は、技能評価センターが実施することとされており、全国の技能開発センター、職業訓練校のほか、DSD が認めた企業や専門学校等の機関で実施されている。実際の試験の実施頻度は、受検ニーズにより不定期に実施される。ただし、内装電気工、溶接、機械加工など、ニーズの高い職種については、定期的実施されている。
SESPP 事業の状況	これまでに実施した職種は、電工、機械組立仕上げ、旋盤、配管、シーケンス制御、情報配線施工、電子機器組立てなどがある。 タイにおいては既に自立的に検定を運営する能力を備えたと判断できることから、2018 年度以降は現地活動を行っていない。